

医学生に向けて

本院は、「地域とつながる」大学病院・特定機能病院です。
高度先進医療を知り、地域を支える標準的な医療を提供できる医師になるための第一歩を本院で踏み出しませんか？多種多様なキャリアプランも提案します。

病院の
特徴

鳥取大学医学部附属病院は70年以上に渡り、地域の病院として、また山陰地方の医療の最後の砦として一般的な疾患のみならず重症疾患や難病など多岐に渡る疾患の診断と治療を行っています。また同時に、将来の山陰地方の医療を支える若い医師を育て送り出しています。指導医をはじめとする本院の医師やメディカルスタッフは、診療だけでなく教育への意識も高く、チームでの研修医や若いメディカルスタッフの育成に力を入れています。救急も1次から3次まで、ドクターカーやドクターヘリを駆使して受入れています。

- ▶ 開設年 / 昭和26年
- ▶ 病床数 / 697床
- ▶ 標榜科 / 39科

内分泌代謝内科、内科、薬物療法内科、血液内科、消化器外科、救急科、精神科、小児科、脳神経小児科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科、感染症内科、ペインクリニック外科、頭頸部外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、脳神経内科、呼吸器内科、膠原病内科、アレルギー科、消化器内科、腎臓内科、循環器内科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺内分泌外科、小児外科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、腫瘍内科

- ▶ 医師数 / 444人(令和6年4月1日現在)
- ▶ 指導医数 / 204人(令和6年4月1日現在)
- ▶ 外来患者数 / 1日平均 1,556.9人(令和5年度)
- ▶ 入院患者数 / 1日平均 610.8人(令和5年度)



voice

指導医

みやたに こうぞう
宮谷 幸造



「とりだいの研修ってどう?」、「鳥取県での研修ってどう?」、皆様のご不安は多いものと拝察致しますが、良い初期研修を受けるなら、とっとり大学がてっとり早い!とりだいの研修の魅力は、放任でも過保護でもない、適度な「

やってみて感」だと思います。

例えば、私は消化器外科医ですが、胸水穿刺、腹水穿刺、CV留置等々、もうお腹いっぱいなので、皆さんに是非やってもらいたいです。山本五十六の教育における4段階法を実践し、皆さんと臨床の楽しさを分かち合いたい指導医が、たくさん在籍しています!

鳥取県での研修って田舎だから楽しくない?答えはNoです。飲食店や遊戯施設は十分で、海も山もある。患者さんも優しい(この点、結構重要)。東京・大阪は飛行機や高速バスで意外と近い。スタバもセブンもある。ほっこりした気持ちで維持できる生活・診療環境で、心身共に充実した研修生活を送ることができますよ!

とにかく、とっとり大学は、研修医の皆様を待っています!!

研修医

みやもと たくみ
宮本 拓弥



当院では自由度の高いプログラムから専門性の高い7つのプログラムが設けられており、研修病院と研修科を組み合わせることが出来るのが大きな魅力と考えています。

また、来年度より関西たすきがけプログラムでは兵庫県の2病院(兵庫県立はりま姫路総合医療センター、北播磨総合医療センター)を新たに研修病院として加え、充実したプログラムとなっております。私は山陰たすきがけプログラムを選択し1年目を市中病院で研修しました。

今年度から当院での研修が始まりましたが、昨年とは違う環境に身を置くことで違った知識が増えやすかったり疾患の見え方が変わったりするところがたすきがけプログラムの大きなメリットだと感じています。当院には多くの診療科が揃っており、希望に合わせて幅広い研修を行うことが可能です。

研修医一同、皆様を心よりお待ちしております。



初期臨床研修プログラム

目 標

- 将来、社会が求める最適な医療を、安全に配慮して提供できる優れた医療人となるために、
1. 医師としての基本的価値観(社会的使命、利他的態度、思いやり、自己向上心)を身につける。
 2. 医学や医療に関する倫理原則を理解し行動する。
 3. 日常診療で頻繁に遭遇する病態・疾患に対応できる基本的な診療能力を身につける。
 4. 常に最新の医学知識の獲得に努めるとともに、科学的探究心を持ち、地域社会や国際社会、公衆衛生への貢献をめざす。
 5. 他の医師や医療者と共に医療を行い、学び、互いに敬意をはらう姿勢を身につける。

特 徴

特徴的な7つのプログラムと基幹型病院として提供する多彩な診療科研修により、研修医の希望と将来の進路に沿った、充実したローテーション研修を行う。指導医・上級医から屋根瓦式にマンツーマン指導を受けられる。

大学病院として多数の専門研修プログラムを運用しており、臨床研修からの段階を越えた研修が可能である。チーム医療も充実している。

年間研修計画

※プログラムは合計7つあります(定員合計39名)。詳細は下記担当までお問い合わせください。

自由選択プログラム(研修例) 募集定員11名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション		必修(内科24.4週)						必修 (救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)				鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週				選択科39.2週					鳥大病院 協力型病院	



外科専門プログラム 募集定員3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション		外科22週				必修外科4.4週		必修(内科24.4週)				鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(救急科13.2週、地域医療4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)							必修一般外来研修4週	選択科4.4週		外科12.8週		鳥大病院 協力型病院



関西たすきがけプログラム 募集定員8名

山陰たすきがけプログラム 募集定員11名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション		必修(内科24.4週)						必修 (救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)				鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週				選択科39.2週					鳥大病院 協力型病院	



日当直回数 宿直4回、日直1回程度

担当医師等: 常時医師10名(自宅待機除く)、研修医1~2名、看護師・准看護師60名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、放射線技師1名等

当直時間: 宿直17時~翌8時30分(月4回まで)
日直8時30分~17時(休日のみ、月1回まで)

翌日勤務: 当直日翌日の勤務は通常通り(体調・疲労具合により相談)

待遇

- ▶ 基本給 / 1年次 平均支給額39.1万/月(手当込)
2年次 平均支給額40.8万/月(手当込)
- ▶ 賞与 / なし
- ▶ 手当 / 超過勤務手当、宿日直手当、特殊勤務手当(救急科)、通勤手当
- ▶ 休暇 / 週休2日制、有給休暇(年15日)、リフレッシュ休暇(年6日)、特別休暇
- ▶ 宿舍 / 有(借り上げ宿舍、徒歩8分、月額負担25,000円+管理料3,000円)
- ▶ 保険 / 文部科学省共済組合保険、雇用保険、労災保険

募集要項

- ▶ 採用予定人数 / 39人(7プログラムの合計)
- ▶ 応募資格 / 令和7年(第119回)医師国家試験を受験する者、または、既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。
- ▶ 試験日等 / 第1回: 令和6年8月6日(火)
第2回: 令和6年8月21日(水)
第3回: 令和6年9月27日(金)
- ▶ 申込締切 / 各試験日の一週間前(必着)
- ▶ 応募連絡先 /
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
鳥取大学医学部附属病院卒後臨床研修センター
初期臨床研修部門担当 福富 英二
TEL/0859-38-7025 FAX/0859-38-6974
E-mail/jimsotsugo@ml.adm.tottori-u.ac.jp